

科目名称	文化人類学	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	若林 良和	授業に関わる 実務経験	☐ 有 () ☒ 無	

【1】授業概要

学生は、文化人類学(人間の多様な社会や文化に関する比較研究)の知見をもとに、看護行為の前提となる人間の相互理解のあり方について検討し、看護師として人間・社会関係の構築に必要な資質や能力を的確に理解できるよう学ぶ。

【2】学習目標

1. 学生は、人間をめぐる様々な社会や文化の事象を疑似体験・追体験することで、「当たり前(＝常識)」と考えていることが通用しない社会(地域、組織)が数多くあることを理解できる。
2. 学生は、自文化と異文化への理解を深め、文化の多様性や個性性、普遍性を把握できる。
3. 学生は文化人類学なフィールドワーク(現地調査)の実施方法を把握することで、比較研究による相対化の重要性を理解できる。
4. 学生は、人間文化・生活文化・地域文化の特質に関する検討を通して「人間はわかりあえること(相互理解)ができる」という原則を把握できる。
5. 学生は、メディアミックスの手法で、独自の「感性」を発揮し、主体的に「思考」できる習慣を身につけることができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	I－①文化人類学への誘い	講義
2	I－②文化人類学への誘い	講義・DVD
3	I－③文化人類学への誘い	講義・DVD
4	II－①人間文化の探求	講義・DVD
5	II－②人間文化の探求	講義・DVD
6	II－③人間文化の探求	講義・DVD
7	II－④人間文化の探求	講義・DVD
8	II－⑤人間文化の探求	講義・DVD
9	II－⑥人間文化の探求	講義・DVD
10	III－①生活文化の探求	講義・DVD
11	III－②生活文化の探求	講義・DVD
12	III－③生活文化の探求	講義・DVD
13	IV－①地域文化の探求	講義・DVD
14	IV－②地域文化の探求	講義・DVD
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

出席状況や授業時間中に実施するミニツッペーパー(授業内容に対する簡単な意見や感想を10～20分で記述するもの)30%、最終のペーパーテスト(論述)70%で評価する

【6】教科書

指定なし(授業時必要に応じて資料:プリントを配布する)

【7】参考書

祖父江孝男・「文化人類学入門 増補改訂版」・中央公論新社

【8】受講生へのメッセージ

講義を原則としますが、状況によって演習(グループワーク)なども取り入れます。授業では、ビジュアルなリアリティを重視し、AV資料(放送大学放送教材、アニメ、映画、ドキュメンタリーなど)を最大限活用します。文化人類学は様々な文化や社会の研究を通して人間を理解するということです。この講義で学びを深めて下さい。